

ナンバリング	授業科目名 (科目の英文名)	区分
M343A108	ハングル II (Korean II)	融合人材育成科目 国際力強化科目群

必修選択	単位	対象年次	学期	曜・限	担当教員
選択	1	1	後期	木・1	全 紅女 内線： E-mail：

【授業の概要・到達目標】

「ハングル I」の続きとして、学習にさらに取り組み、ハングルで日常生活でのコミュニケーション向上を目指す。医学分野で簡単な場面对応をハングルで会話できるようにする。お買い物、空港、旅行、レストランなどの簡単な会話が正しく発音できるようになる。初級ハングル能力検定試験対策学習も取り入れて資格の習得と継続学習の意欲を高める。

具体的な到達目標	ディプロマポリシーとの対応					
	1	2	3	4	5	6
1. ハングル能力検定試験5級レベル以上の語彙、文法などが身につくことができる。		○				
2. 文章の中から助詞、動詞、形容詞の活用を理解し、発音変化を理解して読めるようになる。		○				
3.						
4.						

【授業の内容】

1	「ハングルI」の復習
2	動詞 形容詞の活用1
3	動詞 形容詞の活用2
4	動詞の現在 過去連形
5	形容詞の連形
6	練習 (-) 課題発表、ハングル能力検定試験練習など
7	動詞の未来連形
8	今何をしていますか? (質問の練習)
9	どこへ行く? (場所について否定文の活用形)
10	韓国語はどうですか? (自分の意思を相手に伝える語幹式や形容詞の活用形の説明)
11	図書館へいきます。 (位置、数字などを使ってコミュニケーション)
12	試験の日ですか? (年月日、曜日などについて会話練習)
13	夜8時まで遊びました。 (から〜までを入れて数字と時間について説明)
14	リンゴ一個いくらですか? (お金の単位、助数詞を使って会話練習)
15	まとめ

【アクティブラーニングの内容・その他の工夫】

A: 知識の定着・確認	○	課題発表、課題提出
B: 意見の表現・交換		
C: 応用志向		
D: 知識の活用・創造		

【時間外学修の内容と時間の目安】

準備学修	与えられた課題について調べ、まとめたりする。(10h)
事後学修	授業で学んだ内容について発音練習をする。(5h)

【教科書】

教科書は指定しない。授業中に配布するプリントや小冊子を使用する。

【参考書】

参考資料などは、授業中に提供する。

【成績評価方法及び評価の割合】

評価方法	割合	目標 1	目標 2	目標 3	目標 4
課題発表、小テスト、課題提出、レポートなど	50%	○	○		
期末試験	50%	○	○		

【注意事項】 全ての評価割合の結果を数値化して最終的に成績評価を決定するので、与えられた課題をこなすこと。

【備考】 上記の「授業の内容」は講義の進み方により、変更される可能性がある。

教員の実務経験の有無	有
教員の実務経験	大分大学・経済学部にて講義
教員以外で指導に関わる実務経験者の有無	無
教員以外の指導に関わる実務経験者	
実務経験をいかした教育内容	「応用ハンゲル I、II」講義、「ハンゲルとその文化 I、II」講義
授業形態	面接授業